

講義名	キャリア実践論(3年生のみ)			授業形態	
担当教員	前川 明	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。就活は3年生の前期から準備が始まり、4年生の前期まで続く(未決定の場合は卒業まで続くこともある)。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンディションを理解し、自己成長の目標に明確していくことが重要となる。授業概要は、自分の強み・弱みを知ること(自己PR)。また、働くことの意義(価値観)、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考へること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力(面接・グループディスカッション)を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めることにある。

- ・自己PR等の筆記試験対策で得意・不得意な分野を自己評価する。
- ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめる。
- ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていく。
- ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。

提出課題

- ・毎回授業のミニレポート
- ・課題レポート(1回)
- ・企業で求められる基礎能力(筆記試験)の小テスト
- ・期末レポート

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

課題(レポートや小テスト等)を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施します。また、毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー(Respon)を使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容(感想、質問)を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。

評価の基準

・毎回の授業に関連してのミニレポートの作成(45点)

・課題レポート(課題)(10点)

・企業で求められる基礎能力(筆記試験)の小テスト(10点)

・期末レポート(35点)

期末レポートの提出のない場合は単位認定しませんが、必ず期末レポートの提出をお願いします。それぞれの課題は期限内の提出、内容、記入量(指定された文字数以上)を基に評価するため、提出しただけでは評価しませんので、注意してください。

履修にあたっての注意・助言他

- ・この授業はいつでも社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー(時間を守る、私語を慎む等)を守って出席してください。
- ・授業で紹介する参考書籍を読むことが授業内容を理解する上で非常に役立ちます。
- ・提出課題(課題レポートなど)は必ず提出してください。
- ・3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、就職希望の学生は必ず受講し、日頃からテレビ、インターネットのニュース、新聞等で社会全般についての情報に関心を持ってください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

毎回の授業に使用する資料は配布します。また、参考文献は授業内で紹介します。

授業計画

- 1 イントロダクション:就職環境の現状と課題
 <予習>シラバス、特に主題と概要、到達目標を事前に確認すること。就職活動に関する内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、講義内容に関連する情報やニュースを調べて理解を深めること。(120分)
- 2 働くことの意味
 <予習>自分自身の働く理由について、これまでの経験や取り組みを振り返っておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、再度、自分自身がなぜ働くのかを考えておくこと。(120分)
- 3 自己分析
 <予習>自分自身の学生時代を振り返った上で、自分の強みや弱みについて考えておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、就職サイトで適性検査を受検し、自身の傾向を把握しておくこと。(120分)
- 4 生成AIの活用
 <予習>生成AI(GPTやGeminiなど)について、どのように活用するか、実際に使用して考えておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、第3回目に学んだ自己分析の内容を活用して、自身の自己PRやクワチ力を生成AIを活用して作成すること。(120分)
- 5 エントリーシート・履歴書
 <予習>エントリーシート・履歴書内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、生成AIを活用して作成した自己PRやクワチ力を自分自身で修正して、自分なりの文章を作成すること。(120分)
- 6 エントリーシート・履歴書
 <予習>エントリーシート・履歴書内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を整理すること。また、生成AIを活用して作成した自己PRやクワチ力を自分自身で修正して、自分なりの文章を作成すること。(120分)
- 7 筆記試験
 <予習>就職試験で課される筆記試験について、インターネット、本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を復習すること。また、希望進路により課される試験の違いを調べておくこと。(120分)
- 8 筆記試験
 <予習>就職試験で課される筆記試験について、インターネット、本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を復習すること。また、希望進路により課される試験の違いを調べておくこと。(120分)
- 9 業界・企業研究
 <予習>応募を考えている企業や自治体について、ホームページ、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、企業や自治体を調べて理解を深め、応募するための準備をしておくこと。(120分)
- 10 業界・企業研究
 <予習>応募を考えている企業や自治体について、ホームページ、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、企業や自治体を調べて理解を深め、応募するための準備をしておくこと。(120分)
- 11 様々な就職サイトの活用
 <予習>様々な就職サイトを理解し、いくつかのサイトを実際に利用しておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、それぞれの就職サイトの特徴を把握した上で、就職活動にどのように活かしていくのかを考えておくこと。(120分)
- 12 グループディスカッション
 <予習>就職活動で実施されるグループワークやディスカッションの内容について、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、就職活動でのグループワークやディスカッションの事例を調べて理解を深め、準備をしておくこと。また、オンラインでの選考についても調べておくこと。(120分)
- 13 面接
 <予習>就職活動で実施される面接の内容について、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、就職活動での面接の事例を調べて理解を深め、準備をしておくこと。また、オンラインでの選考についても調べておくこと。(120分)
- 14 面接
 <予習>就職活動で実施される面接の内容について、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。(120分)
 <復習>講義内容を振り返り、就職活動での面接の事例を調べて理解を深め、準備をしておくこと。また、オンラインでの選考についても調べておくこと。(120分)
- 15 就職活動の戦略の立て方

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
○ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、社会に出るために、自分の強み・弱みを知ること(自己PR)。また、働くことの意味(価値観)、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考へること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力(面接・グループディスカッション)を高めるために、実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業であり、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンの育成」という本学のめざす姿に合致しており、その中でも特に就職活動を進めるための知識を実践で生かせるようになる「知識を知恵に変換できる 論理的思考力を持った人材」を育成することと合致していると考えられる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内での疑問や毎回授業のミニレポートはクリッカー(Respon)を使用し、授業中の教員からの設問についてはリアルタイムで意見の解説を行い、授業最後に回答するミニレポートについては次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容(感想、質問)を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 小売業での販売職(3年)、洋菓子メーカーでの人事(採用・教育)(5年)を経て、その後、20年間、キャリア教育の講師、就職アドバイザーとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援(面接代行)に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生活(課外活動など)での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行います。

備考